



AGULI



* 巻頭エッセイ 本とのよき出会いを！	茂 牧人	P. 2
* 新入生にお薦めする本		
日常を想像し、創造する	千葉 優子	P. 3
『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』	橋本 秀美	P. 3
リチャード・フロリダ著『新クリエイティブ資本論』	井口 典夫	P. 4
一文章を書くための神髄に触れようー	諏訪 牧子	P. 4
自分のいる位置をまず知ろう	開澤 栄相	P. 5
何度でも読み返したい漱石『こころ』	会田 弘継	P. 5
* 図書館より		
〔相模原〕アカデミックライティングセンター開室		P. 6
〔青 山〕選書 Weeks2017		P. 6
POP も描ける！選書ツアー		P. 7
* 図書館広報板		P. 8

本とのよき出会いを！

総合文化政策学部長 茂 牧 人
SHIGERU Makito

新入生の皆さまご入学おめでとうございます。今からどのような先生や友人と出会うのか期待と不安で一杯だと思います。大学時代の出合いや経験は、あとあとの人生にとっての礎となります。また、若い時代に読んだ本との出合いも、のちの人生に影響を与えることでしょう。

私は、文学部哲学科に入学しましたが、その1年生の「哲学演習」の授業を繰り返し思い起こします。とくにアウグスティヌスの『告白』（山田



アウグスティヌス著
山田晶訳
中央公論社
(青 132.17/A1-26/1～3)

晶訳、世界の名著、中央公論社。現在は、中公文庫に入っています）を読んだときの感激を忘れることはできません。放蕩の限りをつくしたアウグスティヌスが、回心をして、洗礼を受けるまでの前半の人生を振り返り、神に賛美をささげて告白しているのです。その話も感激しますが、本書の中には、いくつかとても美しい表現がでてきます。「私たちの心は、あなたのうちに憩うまで、安らぎを得ることができないのです」（第1巻1章）。「あなたは私のもっとも内なるところよりももっと内にいまし、私のもっとも高きところよりも高きにいます」（第3巻6章）。「私の重さは私の愛です」（第13巻9章）、などです。また、第10巻では、神を求めて旅をして、自己自身の内側の記憶を超えた先に「私を超えて、あなたにおいて」場所ならぬところに神を見出し、さらに第11巻の時間論において、その現在の現在にいます神において「古い日々のうちに分散されていた自分が一つに集められ、一なる方に従う」ことができるようになると記されます。私は、

この著作に感動したこともあり、その年のクリスマスに洗礼を受けました。またその後宗教哲学を研究するきっかけにもなったのです。

さらに、40代になってもう1冊の本の出合いがありました。その著作を読んだときには、私が考えていた哲学の問題がすべて根底から解決さ



シェリング著 藤田正勝編
燈影舎
(青 134.3/S4-6/4-1)
(短 134.3/SC1/9-4-1)

れているように思え、1週間ほど放心状態だったことを覚えています。そして今その哲学者を研究しています。それはシェリングの『人間的自由の本質』です（現在は、『シェリング著作集』4a、燈影舎、に入っている藤田正勝先生の翻訳をお勧めします）。神の創造の本質は、人間に自由を与えたことにある。その自由とは、神に従うこともできるし、反抗することもできる自由です。その神に反抗することから悪が生じてくるのですが、その悪をなしてしまう人間の自由は、どのような原理によって成り立っているのかを探究しています。その構造は、神の中の実存と根底の二つの原理の緊張関係から解明されるのです。しかも、その実存と根底は、さらに無底という働きから生じてくることを説きます。この無底から実存と根底がでてくる三一性の構造こそが、人間の自由の原理となっているのです。この本は、大学生には難しいかもしれませんが、西洋哲学の中で最も完成度の高い書物の一つです。

皆さんも、本の中にリアリティを感じて、人生の中でその後の方向を決定するような読書ができれば幸いなことだと思います。よき出会いによって充実した学生生活になりますように。

（総合文化政策学部教授 近・現代ドイツ哲学、宗教哲学）

日常を想像し、創造する

千葉 優子
CHIBA Yuko

2015年にノーベル文学賞を受賞したスヴェトラナ・アレクシエーヴィチの『戦争は女の顔をしていない』は、旧ソ連の女性たちによる第二次世界大戦の語りを集めたノンフィクション作品です。1948年に現在のウクライナで生まれ、ベラルーシの村で育った著者は、時には何日もかけて女性たちに会いに行き、彼女らの重い口が開くのを辛抱強く待ち、出てきた言葉たちを記録しました。女性の戦時体験と聞くと、夫を送り出す妻、息子を待つ母などを想像しがちですが、驚くのは、多くの若い女性が兵士として前線への配置を志願するに至り、実際に戦地で活躍した事実です。10代後半～20代という、まさに皆さんと同世代の若者たちの過ごした〈日常〉を、この本を通じて間接的に、けれども生々しく、体験することができます。そして、それは価値のある体験だと思います。住民はどのように戦争に巻き込まれ、いかにして人生を決定づけられてしまったのか、連合国の勝利は彼らに何を意味したのか、この本を読んで探ってみて下さい。また、現在も他国において戦争や紛争という〈日常〉を強いられている人々が存在することに、意識が向くことでしょう。皆さんには、同時代を生きる若者として何ができるかを貪欲に探求しつつ、キャンパスでの〈日常〉を存分に味わい、実り多き大学生活を創り上げてほしいと思います。



スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ著 三浦みどり訳
岩波書店
(青 238.07/A3-2)
(相 238.07/A41S)

(経営学部准教授 分断社会の政治)

『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』

橋本 秀美
HASHIMOTO Hidemi

本学正門脇の高い所で銅像になって手を挙げ続けているウェスレーは、メソディスト派の創始者ですが、彼は、メソディスト派の信徒が必然的にお金持ちになってしまうことを憂慮していました。1920年に原著が刊行されたこの本には、そんな状況も紹介されています。オランダに較べてベルギーの食べ物が段違いに美味しいと聞くと、この本を読んだ後では、宗教と結び付けて考えたくなくなります。但し、この本はプロテスタント思想の概説書ではなく、ウェーバー独自の分析を論述したもので、その分析・論述の鮮やかさの故に、学問研究の一つのお手本として、圧倒的な存在感を放っています。幅広く資料を把握し、過去の研究を的確に位置づけ、概念を丁寧に区別し、思考方法を自覚的に検討し、論理を厳密に組み立て、読者の興味を引く材料を効果的に配置しています。社会学・社会科学の古典的名著とされていますが、分量的に大部分を占めるのは思想史的分析ですので、むしろ人文研究に興味を持つ人にこそお薦めしたいです。翻訳も素晴らしく、日本語として自然に読めるようになっていきますし、巻末の解説も非常に親切です。フロム『自由からの逃走』を先に読むと、取っ付きやすいと思います。



マックス・ヴェーバー著
大塚久雄訳 岩波書店
(青 331.585/W4-2)
(相 331.5/W51P/1989)

(国際政治経済学部教授 中国古典文学・学術史)

リチャード・フロリダ著『新クリエイティブ資本論』

井口 典夫
IGUCHI Norio

先進国はGDPの多くを著作権絡みの産業で稼いでいる。担い手は「クリエイティブ・クラス」と言われるキラキラした人材だ。実際、広告代理店やメーカーに勤め、いずれ独立してクリエイターになりたい、そのために大学に進学したという学生が増えている。しかし殆どの大学ではそうしたことを教えてくれない。なぜなら大学は知的な（それも10年以上昔の）ディシプリンを会得する場であり、それはクリエイティビティの対極にあるからだ。ディシプリンの達人が大学教員なのであり、もともとクリエイティブなことなど教えることができないのだ。今やワーキング・クラス（ブルーカラー）の入口にいる人材でしかない大学生は、これから何を学びどう生きるかについてより深く考えなければならない。



リチャード・フロリダ著
井口典夫訳
ダイヤモンド社
(青 332.53/F13-4)

そうした中、表題の著作は大いに助けとなろう。30年にわたるフロリダの研究成果が集約されていると思えば便利な書だ。社会の寛容性こそが重要であり、そのような場に自身を置き続けることの意義が語られる。「就職」「結婚」が人生を決定づける時代は既に終わり、「現住所」が最も大事であるとの彼の主張は、青山学院大学に入学する諸君に大きな励みとなるに違いない。

(総合文化政策学部教授 文化政策)

－文章を書くための神髄に触れよう－

諏訪 牧子
SUWA Makiko

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学で思い切り勉学に励み、様々な技能を身につけようと張り切っているのではないのでしょうか？ 多くの技能の中でも最も必要で基本となるのが、知識を整理し文章としてアウトプットすることです。大学ではレポート、論文など様々な文章を書く機会が増えます。書店には文章の書き方のHOW TO本が溢れ、それらに飛びつきたくなるでしょう。でもちょっと待ってください。この1冊：『理科系の作文技術』木下是雄著を真っ先にお勧めします。（今まで81版を重ね、多くの読者から支持されている良書なのです。）



中央公論新社
(相 407/K5-6/2)

この本の序章には、第二次大戦下で大量の文章を読む必要に迫られた英国チャーチル首相が、「多くの文書が長すぎて無駄であり、要点を見つけるために文書を徹底的に短くせよ」という趣旨で政府内部所に指示したメモのエピソードが示されています。このメモの考え方が本書の全体に背景として流れており、“うまい文章”ではなく“明快・簡潔・平易な”文章とはどのようなものなのかを徹底的に掘り下げていきます。この意味では確かに「理系のための」なのですが、文章を書くための神髄に触れると言う意味では理系も文系も差はなく、全ての学生に読んでもらいたい本です。そして著者が悪文に対して吐くウィットに富む毒舌にクスッと笑ってくださいね。

(理工学部教授 バイオインフォマティクス(生命情報科学)、生物物理学)

自分のいる位置をまず知ろう

開 澤 栄 相

HIRAKIZAWA Eisuke

新入生の皆さんは、今、これから大学で何を学び、どのような知識・技術・経験を身につけて社会人となるのか、いろいろ考えていると思います。私からのアドバイスは、まず自分の立ち位置を確認することから始めてはいかが、ということです。自分の立ち位置とは、歴史の中のどこに自分はあるのか、同時に現代世界の中で自分はどこにいるのかを知ることです。皆さんが生活している快適な社会は多大な苦勞の末に成立したものであり、またそれを維持・発展させるのは大変困難なことだからです。そうした自分の立ち位置を確認するために、私のお薦めは、『映像の世紀』（1995年3月～1996年2月）と『新・映像の世紀』（2015年10月～2016年3月、制作：ともにNHK）です。この100年間の政治（戦争や東西対立等）・経済（繁栄と恐慌等）・技術（鉄道・自動車・原子力・コンピュータ等）が私たちにもたらしたものを知ることができます。そして、現代社会について経済学を通して学ぼうとするのであれば、『めちゃくちゃわかるよ！経済学』（坪井賢一、2012年、ダイヤモンド社）か『池上彰の経済超入門』（池上彰、2015年、毎日新聞社）をお薦めします。いずれも初学者向けに図解や平易な言葉で書かれています。まず現代社会がどうなっているか、その課題は何かを知り、そこから自分の学べきことや進路を考えてはいかがでしょうか。



(相 330/TS15M/2012)

(社会情報学部教授 国際金融論)

何度でも読み返したい漱石『こころ』

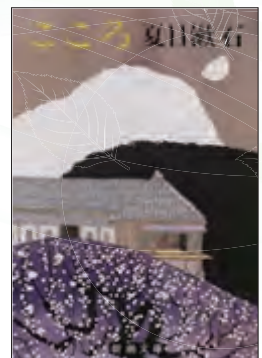
会 田 弘 継

AIDA Hirotsugu

「もう読んだよ」と言わず、大学生になった今、もう一度読んでみましょう。「先生」の学生時代に起きた秘密の事件をめぐる物語は、易しい話ではありません。何度でも読み返して、漱石が何を言おうとしたのか、考え続けてみてください。明治の人たちにとって「近代」を歩むということが何を意味したのか。いまでも問題は続いています。

もう読んだ、と言う君も、どうして「先生」は明治天皇の後を追った乃木將軍の殉死をきっかけに自裁したのか、その心理が分かりますか。難しい、重たい問題です。関心があれば、『世界から読む漱石「こころ」』（勉誠出版）という本に、拙稿エッセー「乃木將軍の殉死と先生の死をめぐる」がありますから、読んでみてください。江藤淳『夏目漱石』（新潮文庫）に収められている「明治の一知識人」にも、この難しい問題の解き方が書かれています。

『こころ』にはイェール大学で教えた故エドウィン・マクレラン教授による見事な英訳があります。マクレランがなぜ漱石に惹かれ、世界の知識人はこの作品をどう読んだか。拙著『追跡・アメリカの思想家たち』（中公文庫）のエピローグ「戦後アメリカ思想史を貫いた漱石『こころ』」がそれを描いています。機会があれば目を通してみましょう。



江藤淳の解説あり
新潮社
(青 913.7/N4-24/4)
(相 913.6/N58KO/1984)

(地球社会共生学部教授 ジャーナリズム・思想史)



図書館より



大学図書館ファミリー

相模原アカデミックライティングセンター開室

論文やレポートなどの学術文章について、「書く力」を実践的に身につけることができるアカデミックライティングセンターが、2017年11月に青山キャンパスに開設されました。相模原キャンパスでも、昨年12月と1月にライティングセミナーを主催してまいりましたが、いよいよ2018年4月から、個別相談による支援を開始いたします。

アカデミックライティングセンターでは、レポートや論文について、ライティング支援の専門性を有するチューター（大学院生）に個別相談ができます。大学に入ってはじめて書いたレポート、英語の論文を提出する前にちょっとみてほしい、そんなときにぜひご利用ください。きっと、みなさんの「書く力」の手助けになります。ライティングスキルを身につけて、今後のさまざまな場面に役立てましょう。



場所：B棟 万代記念図書館2階

開室日時：授業実施期間中の月曜日～金曜日 11:00～17:00

1セッション45分。原則予約制（Web予約、来室予約）。

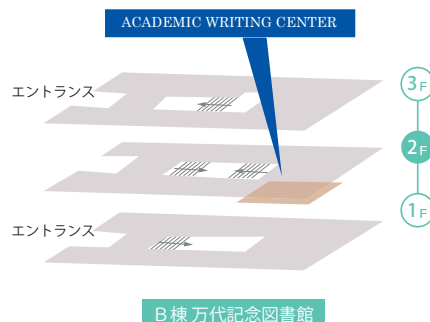
※予約方法、個別相談ができる日などの詳細は、Webサイトをご確認ください。



▶アカデミックライティングセンター Web サイト
<https://www.agulin.aoyama.ac.jp/writingcenter/>



けやきさん



「選書 Weeks2017」



アイビーちゃん

多数のご参加ありがとうございました



いちようくん

2017年11月～12月の2か月間 Maruzen eBook Library の約40,000点の電子書籍の試読サービスを実施し、期間内に利用の多かった電子ブックの中から、50点を購入いたしました。選書 Weeks 期間中のアクセス数は1,800を超えました。和書・洋書とも利用できる電子ブックが増えていますので、ぜひアクセスしてみてください。

今回購入した電子ブックのタイトル（抜粋）

●1・2歳児の自己肯定感の土台を育む ―泣いて笑って育ちあう16人の物語―（年齢別・保育研究） ●和食の英語表現事典 ●笑い ―その異常と正常― ●迷走するイギリス ―EU離脱と欧州の危機― ●現代ASEAN経済論 ●あたりまえを疑え！―臨床教育学入門― ●人格・平等・家族責任（講座労働法の再生 第4巻） ●はじめてのアメリカ法 = Inspiring American law 補訂版 ●共生社会を切り開く ―障害者福祉改革の羅針盤― ●フォロワーが語るリーダーシップ ―認められるリーダーの研究― ●はじめてのジェンダー論（有斐閣スタジオ）

4月の図書館オリエンテーションのご案内

本館 青山キャンパス

【新入生対象】

- 日程：4/3（火）～4/6（金） 各回 35 分間 ① 10:10～ ② 11:10～ ③ 12:10～
- 場所：図書館 1 階マルチメディア室 定員 45 名 ④ 13:10～ ⑤ 14:10～ ⑥ 15:10～ ⑦ 16:10～

- 大学院生のための資料の探し方ガイダンス【大学院生・専門職大学院生向け】** 各回 30 分 ①日本語文献編 ②海外文献編
4/2（月） ① 17:30～18:00 ② 18:15～18:45 BF 情報検索コーナー 定員 19 名
4/7（土） ① 14:00～14:30 ② 15:00～15:30 マルチメディア室 定員 28 名

- アカデミックライティングセンターオリエンテーション【学部・大学院全学年参加 OK】**

「ホップ・ステップ・ジャンプの3段階で学ぶ アカデミックライティングのいろは」

（1）アカデミックライティングセンター利用ガイダンス

4/3（火）～4/6（金） ① 11:00～11:30 ② 14:00～14:30 場所：17303 教室

（2）図書館レファレンスカウンターと AWC の活かし方

4/16（月）、18（水）、20（金） 各回 12:40～13:10 場所：17303 教室

（3）安心してください・・・教えます！レポートの書き方【学部 1・2 年生向け】

4/23（月）～27（金） 各回 12:40～13:10 場所：図書館 1 階マルチメディア室

4/23（月）レポートを書くための準備 4/24（火）レポートの基本

4/25（水）レポートのための資料の探し方 4/26（木）クリティカルリーディング

4/27（金）引用のルール

万代記念図書館 相模原キャンパス

初心者マークの図書館利用オリエンテーション

図書館の施設を案内しながら、本の貸出・返却などの基本的な利用方法や高校までとは違う大学図書館の利用方法を紹介します。コンピュータで制御された地下自動書庫内の本の利用方法についても説明します。

所要時間：40 分（各回同一内容です） 集合場所：B 棟 図書館内 1 階中央吹き抜け下

★なお、4/9（月）～4/13（金）には、「**本を借りるツアー**」も実施します。図書館の利用方法を教わりつつ、実際に本を借りてみる 20 分のミニツアーです。4/6 までのオリエンテーションに参加できなかった方は、是非ご参加ください。

実施時間：① 12:40～13:00 ② 15:00～15:20 集合場所：B 棟 図書館内 1 階中央吹き抜け下

アカデミックライティングセンター利用ガイダンス

レポート、発表資料、論文作成を手助けするアカデミックライティングセンター（AWC）について、どんなときに、どのように利用したら良いかを説明します。大学に入って初めてのレポート作成や今後の文章作成にもきっと役立ちます。図書館利用オリエンテーション終了後に、続けて参加することができます。

所要時間：15 分（各回同一内容です）

集合場所：B 棟 図書館内 2 階アカデミックライティングセンター

オリエンテーション・ガイダンス実施スケジュール

日程	図書館利用オリエンテーション 実施時間	AWC 利用ガイダンス 実施時間	対象となる学部・学科
4 / 4（水）	12:50～13:30	13:35～13:50	電気電子、機械創造、経営システム
	14:10～14:50	14:55～15:10	情報テクノロジー、地球社会共生
4 / 5（木）	11:30～12:10	—	社会情報
	13:40～14:20	14:25～14:40	社会情報、地球社会共生
	15:00～15:40	15:45～16:00	物理・数理、化学・生命科学
4 / 6（金）	10:00～10:40	10:45～11:00	理工全学科、社会情報、地球社会共生
	11:20～12:00	12:05～12:20	理工全学科、社会情報、地球社会共生
	13:30～14:10	14:15～14:30	理工全学科、社会情報、地球社会共生

編集後記

大学入学時に読んだ本を、卒業して何十年もたってから引き寄せられるように再読するという経験を多くの人がしています。その経験を通じて、大学入学時の気持ちを思い出したり、卒業後に自分が積み重ねてきたものや失ったものを実感したりします。その意味で、大学入学時に読む本は一生の財産となります。皆さんがそのような一生の財産に出会うことを願ってやみません。（館報編集委員長 竹田憲史）

青山学院スクール・モットー 地の塩、世の光 The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院大学図書館報 “AGULI” 第 104 号 2018 年 4 月 1 日発行 表紙写真／青山学院大学写真研究部
編集 青山学院大学図書館報編集委員会・大学図書館広報担当 TEL.03-3499-1402 FAX.03-3407-4472
発行 青山学院大学図書館 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 <https://www.agulin.aoyama.ac.jp/>